



▶古着類や小型家電は資源として再利用できます

ごみ減量化と貴重な資源のリサイクル推進を目的とした、古着類と小型家電の特別回収が10月7日、役場駐車場で行われました。

回収件数102件、衣類約650キ、小型家電約312キを回収しました。回収した衣類

### 貴重な資源を再利用 古着・小型家電の特別回収

は、株高良を通して、東南アジアなどに輸出し、再利用されます。

また、町では、ごみの出し方教室を行っています。特別回収の詳細も説明しますので、生活環境課 環境係（☎58212123）まで気軽に相談ください。

過去最大級とも言われた台風19号(令和元年10月)の影響により決壊した佐久間川に掛かる中北沢橋の架け替え工事が完了し、その開通式が10月11日、現地で行われました。

県による河川治水対策として、令和3年度から着手された佐久間川の護

### 水害乗り越え 待望の開通 中北沢橋開通式

岸整備。その一環で中北沢橋の架け替え工事が行われました。高橋町長は「地元住民をはじめ、関係者の皆さんのご尽力に敬意を表する。大災害を忘れることなく、末永く愛される橋となることを祈念する」と話し、開通の喜びを分かち合いました。



▶式に参加した地元住民の皆さんと行う渡り初め



▶認知症の人が見ている世界をVRで体感する参加者

### 認知症への理解深める 認知症フレンドリー講座

認知症フレンドリー講座が9月24日、イコーゼで行われました。

当日は、町民約30人が参加し、講話や認知症本人のインタビューなどを聞き、認知症への理解を深めました。VR（バーチャルリアリティ）体験では、バスに乗る時の

見えにくさや幻視が見えるなどの映像が映し出され、認知症による日常生活への影響を体感。参加者は「認知症について誤解していることもあった」「認知症の人を一人の人として向き合い、寄り添いたい」との感想が寄せられました。

### 地域で見守る意識高める 高齢者見守り声かけ訓練

高齢者が行方不明や迷子になったという想定のもと、実際に捜索や声かけを行う「高齢者見守り声かけ訓練」が9月20日、町内で行われました。

訓練には、介護関係事業所の職員や薬剤師、民生委員、警察官など約40人が参加。高齢者役6人

が、町内の商店や郵便局などを訪れ、参加者らによる声かけやスマートフォンで読み取るとQRセンターの電話番号が表示される「見守りQRコード」の利用方法を確認しました。地域全体で高齢者を見守る体制づくりが図られました。



▶高齢者役の人に貼られた二次元コードで情報を確認

## 広告

桑折町公式 LINE



広報こおり・お知らせ版など町の情報がスマホに届く！

### 実現しよう 男女共同参画社会 アンコンシヤス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきのすすめ

各国と比べて、男女共同参画が十分でない日本。その原因の一つに、社会全体に根付く固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシヤス・バイアス）の存在が挙げられます。アンコンシヤス・バイアスに気づかずしていると、その無意識から生まれた言動が相手を傷つけたり、キャリアに悪影響を及ぼしたり、自分の可能性を狭めてしまったりすることがあるため注意が必要です。「普通そうだ」「こうあるべきだ」などの決めつけや押しつけがその一例です。「子育て中の女性に長期出張は無理だ」「この仕事は男性には不向きだ」などと頭ごなしに決めつけず、相手を尊重し理解しようとする姿勢で話をするのが重要です。自らの言動について「これは私のアンコンかも」と疑うなど、アンコンシヤス・バイアスに気づこうと意識してみましましょう。

決めつけ・押しつけの例	
価値観の決めつけ言葉	・「普通」そうだ ・「たいてい」こうだ など
能力の決めつけ言葉	・どうせムリ・どうせダメ ・そんなことできるわけない など
解釈の押しつけ言葉 (違う解釈を受け入れない)	・そんなはずはない ・こうに決まっている など
理想の押しつけ言葉 (自分の理想を相手に求める)	・こうある「べき」だ ・こうでないとダメだ など

参考：内閣府男女共同参画局発行  
共同参画2021年5月号